

次期「関西広域救急医療連携計画(中間案)」 について

関西広域連合 広域医療局

コロナを克服する社会における医療連携



基本理念

「安全・安心の"4次医療圏・関西"」の実現

将来像

「医療における安全・安心ネットワーク」
が確立された関西

- ① いつでも、どこでも安心医療「関西」
- ② 「災害時の死者ゼロを目指す」しっかり医療「関西」
- ③ ひろがる安心医療ネットワーク「関西」

広域救急医療体制の充実

ドクターヘリによる広域救急医療連携の推進

- ◆ 広域救急医療提供体制の強化
- ◆ 近隣地域のドクヘリとの連携促進による「空の連携」の強化
- ◆ 感染症下における安定的な運航の確保 (新)
- ◆ 基地病院間の連携・相互交流の促進による「陸の連携」の深化 (新)
- ◆ ドクターヘリの広域的運航体制の強化
- ◆ ドクターヘリ事業のPRの強化 (新)



周産期医療連携体制の充実

- ◆ 周産期の緊急医療に係る広域連携体制の強化

災害時における広域医療体制の強化

感染症や大規模災害の発生に備えた体制の整備

- ◆ 感染症対策に係る広域連携の推進 (新)
- ◆ 災害医療人材の養成・連携
- ◆ 府県域を越えた災害医療訓練や構成団体間の「情報伝達訓練」の実施
- ◆ 「医療機関BCP」の策定促進
- ◆ 薬剤・医療資機材の確保
- ◆ 災害拠点病院の連携促進 (新)
- ◆ 広域災害時の効果的なドクヘリ運航体制の確保
- ◆ CBRNE災害への対応力向上 (新)



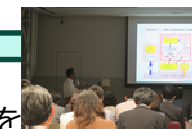
課題解決に向けた広域医療体制の構築

依存症対策

- ◆ 構成団体が実施する効果的な予防・支援策等の周知・広報

薬物乱用防止対策

- ◆ 知見・検査技術の向上を図るための合同研修会の開催等



医療分野におけるSociety5.0の推進

- ◆ 先端技術を活用した医療や感染症に有効な先進事例の共有等 (新)

外国人患者への対応

- ◆ 医療機関における受入体制の整備及び拠点的な医療機関の情報発信 (新)



広域医療連携に係る調査及び広報

- ◆ 高度医療専門分野における情報発信
- ◆ 子どもの事故防止の啓発 (新)

■今後の主な取組

◆広域救急医療体制の充実



(1)ドクターヘリネットワークの拡大「空の連携・陸の連携」

空の連携

連合管内全域を複数のドクターヘリが補完し合う「二重・三重のセーフティネット」を更に拡充するため、近隣地域との連携体制の構築を進める

・今後、導入予定の福井県ヘリ、香川県ヘリ等との新たな連携強化を推進

陸の連携

「ドクターヘリ基地病院交流・連絡会」の継続的な開催及び内容の充実を図り、連合内の基地病院の平時及び災害時の連携強化、フライトドクター・ナースのスキルアップを支援

・各基地病院のフライトドクター・ナースが一堂に会し、特色ある取組や症例等についての発表・意見交換を実施



ドクターヘリ
運航体制

(2)感染症下における安定的な運航

感染症下においても、安定的な運航を継続するため、スタッフの感染予防対策を徹底する。また、感染症患者の発生等によりドクターヘリを運休せざるを得ない場合にも、「二重・三重のセーフティネット」を生かして管内全域で救急医療提供体制を確保



(3)ドクターヘリ事業のPRの強化

ドクターヘリ見学会等により、府県民のドクターヘリ運航に係る理解促進を図るとともに、7機のドクターヘリによる一体的な運航体制を「関西モデル」として全国に発信



(4)周産期の緊急医療に係る広域連携体制の強化

関西広域連合が事務局を務める「近畿ブロック周産期医療広域連携検討会」において、緊急母体搬送等を円滑に確保できる広域連携体制構築の取組を継続するとともに、小児周産期リエゾンの養成等、災害時の各府県の対応等についての情報共有や訓練の実施により、災害時における周産期医療連携を推進

◆災害時における広域医療体制の強化

(1) 感染症対策に係る広域連携の推進

関係機関との連携
による水際対策

- ・感染症患者の搬送手段検証
- ・国への適時適切な提言等

広域医療連携による
検査・医療体制の強化

検査・医療体制の情報共有

- 医薬品・医療資器材及び医療専門人材の広域融通調整
- 検査の広域連携
- 広域的な患者受入体制の連携



新たな感染症の発生時にも、早急な広域医療連携の体制を構築

(2) 府県域を越えた災害医療訓練の実施

大規模広域災害発生時の円滑な医療救護活動に必要な、構成団体の広域調整機能の向上を目的として、各構成府県のDMATやドクヘリが広域的な災害医療関連の訓練に合同で参加
また、構成団体合同で通信訓練及びEMIS(広域災害救急医療情報システム)の入力訓練を行う



(3) 災害拠点病院の連携促進

災害発生時に迅速かつ確実に応援・受援体制を整備できるよう、自治体主催の訓練や研修会等を通じ、広域連合管内における災害拠点病院間の情報共有・連携を促進

(4) CBRNE災害への対応力向上

国際的なイベントの開催

国内外の交流の拡大

CBRNE災害の
リスク増加

医療従事者が汚染の拡大防止や自らの防護などの必要な知見を得るために研修等を行い、CBRNE災害に対する対応力を向上

Chemical (化学物質)
Biological (生物)
Radiological (放射性物質)
Nuclear (核)
Explosive (爆発物)

◆課題解決に向けた広域医療体制の構築

(1) 依存症対策

「ギャンブル依存症」や「アルコール依存症」等、大きな社会・健康問題の一つとなっている依存症への対策として、構成団体間の連携体制を構築し、先進的な取組や関係機関との連携強化の事例について情報を共有

(2) 薬物乱用防止対策

流通ルートの潜在化・巧妙化など、依然警戒が必要な「危険ドラッグ」について、効果的な乱用防止対策の事例共有を図るとともに、新たな課題・事案にも的確に対応するため、知見・検査技術の向上を目的とした危険ドラッグ等合同研修会を開催

合同研修会の実施



(3) 医療分野におけるSociety5.0の推進

インダストリー4.0を進める先端技術(IoT、ビッグデータ、AI)や、5Gのような高度情報通信技術を活用した医療や、感染予防に有効なオンライン診療等について、先進事例の共有や先進地視察を行う。



5Gを活用した遠隔医療



遠隔医療

(4) 外国人患者への対応

在日外国人や訪日外国人の方々が適切な医療を受けられるよう、関西全体の外国人患者を受け入れる医療機関の情報提供を行う。また、外国人患者の受入に係る課題の調査・情報共有を行う。



(5) 広域医療連携に係る調査及び広報

- ・「ジェネリック医薬品」の普及促進のため、構成府県間の先進事例の共有、連携した広報等を実施
- ・消費者庁との連携による「子どもの事故防止研修会」を開催し、連合管内での取組を促進



ジェネリック
医薬品啓発

「安全・安心の“4次医療圏・関西”」の実現！